

コンピュータ利用による原料炭操業管理^{*1}

川崎製鉄技報
17 (1985) 2, 148-153

笠岡 玄樹^{*2} 岡本 修^{*3} 滝沢 譲^{*4}

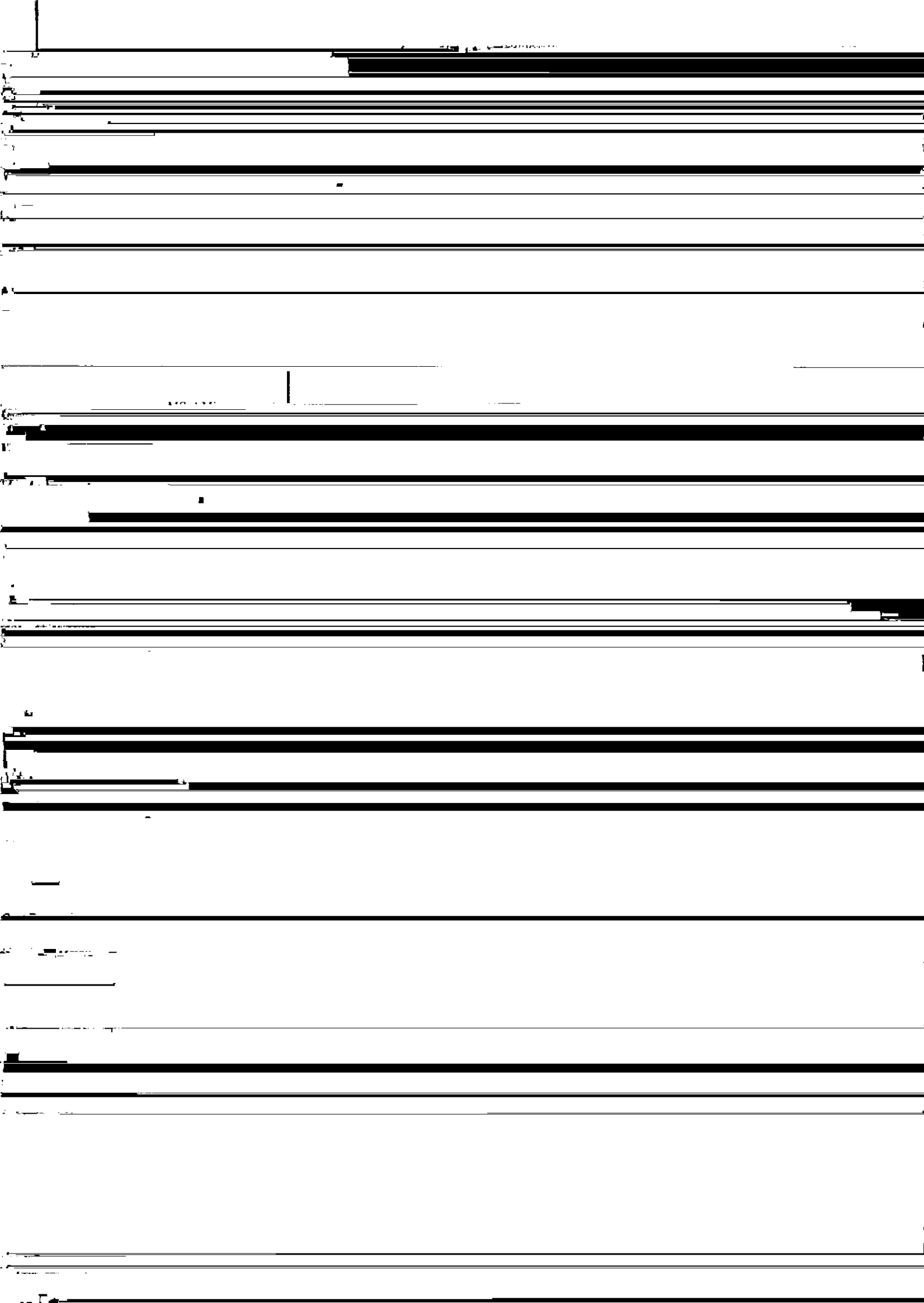
Computer Control System for Coal Yard Operation at Mizushima Works

Received for consideration, October 1984

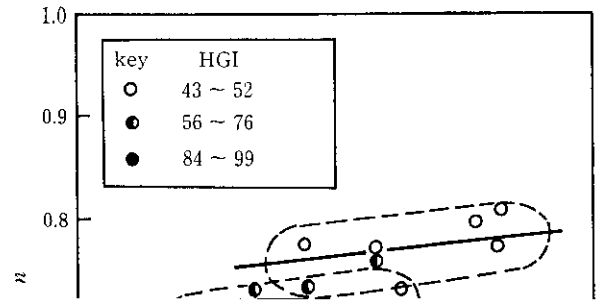
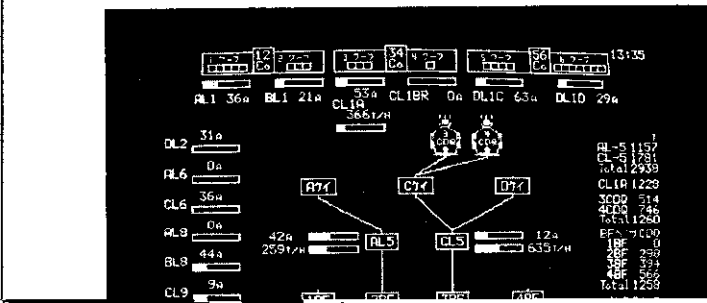
要旨

Synopsis:

本稿は、原料炭操業管理にコンピュータを利用したシステムについて述べている。



(3) 光線行 結果を CRT に表示する 目録掲載 1 年度 5 月 10 日



として、石炭水分値や設備上の輸送能力を考慮して決定される。また、製炭加工工程 (Data 5 参照) による輸送工程 (Data 6 参照)

した。また、粉砕後の粒度は、Fig. 4 に示すように、200 μm 以下の割合で表示され、10 秒ごとにデータ更新が行われる。さらに、



1 2 ■ 13:31 2

9100 - 15100 41 X